



広報便り

訓練指導者育成研修

第 21-014

発行元：金沢消防団広報

発行日：2021年8月2日

作成者：影近（広報委員）



スタンドパイプの取扱要領について説明を受ける

訓練指導者育成研修を実施



防火水槽に部署して揚水を行う

金沢消防団は、6月26日（土）金沢区役所会議室・金沢消防署ガレージ前及び金沢谷ひろば公園において、訓練指導者育成研修を実施した（2日間の研修の1日目）。令和2年度から始まった研修制度で、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で行なわず、今回が初の実施。修了すると訓練指導者



安全管理・車両の緊急走行要領を学ぶ

に認定され、各分団での訓練の指導に当たる。指導者がいることで、より安全で効果的な訓練を行なうことができ、団員の基礎能力の向上につながる。当日は、約20名の団員が参加し、安全管理や器具の取扱要領を基礎から改めて習得し、知識と技能の確立を図った。



ウォーターハンマー（水撃作用）を体験し確認する

また、放水時、圧力の変化により筒先付近でおこる水撃による衝撃を体験した団員は「引っ張られて、重くなる。油断できない」と話し、安全管理の意識を高めた様子だった。